

報告第7号

公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について

公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類について、地方自治法(昭和22年法律第67号)第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり提出します。

令和3年9月3日提出

佐野市長 金子 裕

理 由

公益財団法人佐野市民文化振興事業団から、別紙のとおり経営状況を説明する書類が提出されたので報告するものです。

参 考

地方自治法抜粋

(財政状況の公表等)

第243条の3 …省 略…

2 普通地方公共団体の長は、第221条第3項の法人について、毎事業年
(公益財団法人佐野市民文化振興事業団)
度、政令で定めるその経営状況を説明する書類を作成し、これを次の議会
に提出しなければならない。

3 …省 略…

地方自治法施行令抜粋

(法人の経営状況等を説明する書類)

第173条の2 地方自治法第243条の3第2項に規定する政令で定める
その経営状況を説明する書類は、当該法人の毎事業年度の事業の計画及び
決算に関する書類とする。

2 …省 略…

令和3年度

公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画書

公益財団法人佐野市民文化振興事業団予 算 書

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月31日

【公益財団法人佐野市民文化振興事業団】

目 次

I. 事業計画書 1 ~ 4

II. 予算書 5 ~ 9

I 令和3年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1. 基本方針

平成20年に公益法人制度改革関連三法が施行されたことに伴い、平成6年設立の佐野市民文化振興事業団は、平成24年4月1日から「公益財団法人」として新たに運営を開始した。新公益法人制度の下では、評議員及び役員の方人に対する責務がこれまで以上に明確になり、各人がそれぞれに役割を果たし健全な法人運営に寄与することが求められる。

当財団は、設立以来これまで債券運用益に依り事業を展開してきたが、利回りの比較的良い債券が次々に満期償還を迎えたことにより、過去最低水準の公益目的事業予算となり、この傾向は、ここ一兩年でさらに厳しさを増す。

令和3年度は、公益法人化して10年目を迎えることになる。そのため、当財団の基本理念である「すべての市民が優れた文化環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を目指し、事務局体制を整えつつ、これまでの公益目的事業内容を見直して、厳しい状況の中にあっても限られた予算を効果的に執行し、時代に即した芸術・文化の振興施策を展開していく。

2. 公益目的事業

【1】芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座

舞台や演奏会などの鑑賞事業や文化・芸術に関する講座等を実施し、一方で地域の美術館や博物館等と共催するなどして、広く市民へ芸術・文化に触れる機会を提供し、市民生活や地域の文化的発展に寄与する事業である。

1. 芸術・文化鑑賞事業

地域における文化的環境の醸成と市民生活の充実、地域社会の文化的発展を目指して、身近な場所で気軽に芸術・文化を鑑賞できる機会を提供する。

① 秋のさわやかコンサート

- ・内容：市内アマチュアグループによる気軽に楽しめる野外コンサート
- ・実施時期：11月下旬 ・対象人数：100人・場所：市内県立自然公園

② 伝統芸能公演オンライン配信

- ・内容：地域の人たちの努力により市内各所に継承されてきた貴重な無形民俗文化財の伝統芸能を財団HPで公開し、オンラインを通して多くの人たちが鑑賞し、受け継がれてきた地域の伝統に触れる機会を提供する。

2. 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業

地域の博物館・美術館・文化施設等と連携し、良質な美術品や貴重な歴史資料に対して市民が理解をより深める施策を進める。また、オンラインを活用して美術品・歴史資料を公開し、気軽に鑑賞や学習できる機会を提供する。

① 郷土博物館企画展共催事業

・内容：郷土博物館と連携し、春の企画展では、市内朝日森天満宮をテーマに学芸員の協力を得て平易な解説パンフレットを作成し、秋の企画展では、中根東里をテーマに記念講演会を共催するなどして、青少年やふだん博物館に足を運ばない市民の方々に対し、郷土の歴史・文化への興味関心を醸成する取り組みを実施する。

・連携先：佐野市郷土博物館

・春の企画展（5月）－パンフレット 500部作成

・秋の企画展（11月）・記念講演会の開催 ・人数 70人

② 美術館企画展共催事業

・内容：吉澤記念美術館と連携し、秋の企画で郷土の南画家王欽古をテーマに学芸員の協力を得て小・中学生向け解説パンフレットを作成して、青少年やふだん美術館に足を運ばない市民の方々に対し、美術への興味関心を醸成する取り組みを実施する。

・連携先：佐野市立吉澤記念美術館

・秋の企画展（11月）：パンフレット 500部作成

③ 美術品・歴史資料オンライン配信

・内容：地域の博物館や美術館所蔵の良質な美術作品や貴重な歴史資料を財団HPで公開し、オンラインを通して広く発信し、施設に出向かなくても気軽に美術作品の魅力や郷土の歴史を学習できる機会を提供する。

3. 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー

芸術・文化に対する興味関心の醸成と市民意識の高揚、市民自らの主体的な文化活動を促進するため、講座やセミナーを実施して芸術や文化に関する志向性の浸透を図り、文化活動を担う人材育成のための施策を進める。

① 文化講演会

・内容：各分野の一線で活躍する識者による文化論の一般向け講演会

・場所：市内公共施設 ・人数：500人

② 佐野再発見講座

・内容：受講者と共に各テーマを掘り下げ、いにしへの街道や城跡の大手道を歩くことを通し、歴史や文化の奥深さを知る専門講座

・テーマ：「佐野の歴史と文化を体感する」

・場所：屋内施設及び野外 ・人数：25人

③ 文化活動人材育成セミナー

・内容：文化活動を自主的に企画運営していくための仲間作りを中心とした初心者向け入門講座で、セミナー修了後の活動支援も行う。

・テーマ：「新たな出会いから生まれる豊かさ」

・場所：市内公共施設他 ・人数：25人

【2】市民の芸術・文化活動や伝統文化の継承・人材育成を担う団体に対する助成・支援事業

精神的豊かさを求める市民の文化的活動や歴史や伝統に根ざした文化の継承・人材育成を支援することで、芸術・文化の振興を図る事業である。

1. 地域の芸術・文化振興活動事業育成助成金

市内で芸術・文化活動を行っている団体が主催する地域文化の向上を目的とする事業で、団体活動の特色を活かし、個性豊かな地域文化を創造する事業が該当する。

2. 地域伝統文化保存育成事業活動助成金

国、栃木県、佐野市の指定となった伝統文化の保存や民俗文化財の継承、団体の育成を目的とした事業が該当する。

【3】芸術・文化に関する情報収集・提供事業

1. 事業団報『かがやき』27号を市内全戸に配布すると共に、市内公共施設等の情報発信コーナーにも置いて来場者に供する。

2. 広報誌・インターネットの活用 事業のPRのために、市の広報紙や、新聞、ケーブルテレビ等を活用し、積極的に市民への情報提供を行うほか、ホームページの充実を図り、事業・イベント情報を随時発信する。

【4】各種団体事業への後援

各種団体等が実施する事業のうち文化振興にかかる各種事業について、当財団が適当であると認めたものに後援名義の使用を承認する。

名義後援とは、当財団がその企画やイベントの趣旨に賛同していることを表すものであり、資金・物資・人的援助等は特に行わない。

3. 令和3年度 公益財団法人佐野市民文化振興事業団行事予定表

実施	事業名および内容	摘要
4月	令和2年度事業・決算監査	会場：市内公共施設
5月	通常理事会	会場：市内公共施設
	博物館連携事業（朝日森天満宮）	会場：郷土博物館
6月	定時評議員会	会場：市内公共施設
8月	経営状況の報告	報告：佐野市議会（9月議会）
9月	事業団報『かがやき』27号発行	配布：市内全戸、各公共施設
10月	臨時理事会・臨時評議員会	会場：市内公共施設
	佐野再発見講座開講	会場：市内公共施設等
11月	野外コンサート	会場：市内県立自然公園
	博物館連携事業（中根東里）	会場：郷土博物館
	美術館連携事業（王欽古）	会場：吉澤記念美術館
12月	人材育成セミナー開講	会場：市内公共施設等
1月	事業選考委員会	会場：市内公共施設
2月	通常理事会・臨時評議員会	会場：市内公共施設
年間	文化講演会	時期：講師とスケジュール調整
	文化活動・伝統文化団体助成	対象：該当団体
	伝統芸能公演オンライン配信	開始：下半期
	美術品・歴史資料オンライン配信	開始：下半期

Ⅱ-(1) 令和3年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団
 収支予算書(正味財産増減計算ベース)
 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産運用益	2,850	2,850	0	運用益
② 特定資産運用益				
特定資産(管理運営財産)運用益	1,398	1,398	0	運用益
③ 受取補助金等収益				
受取出捐金	0	0	0	佐野市出捐金
④ 寄付金収益				
寄付金収益	0	0	0	
受取寄付金振替額	0	0	0	
⑤ 事業収益				
参加者負担金	0	680	△ 680	歌舞伎、文楽鑑賞事業の減
⑥ 雑収益				
受取利息	0	0	0	
その他収益	0	0	0	
事業活動収入計	4,248	4,928	△ 680	
(2) 経常費用				
① 事業費支出	12,088	3,941	8,147	307%
i 芸術・文化鑑賞事業	2,068	978	1,090	211%
職員給料	1,002	0	1,002	職員任用経費
職員賞与	333	0	333	職員任用経費
管理職手当	79	0	79	職員任用経費
退職給付費用	109	0	109	職員任用経費
法定福利費	227	0	227	職員任用経費
旅費交通費	10	297	△ 287	歌舞伎、文楽鑑賞事業の減
通信運搬費	10	13	△ 3	切手、発送代
消耗品費	15	0	15	鑑賞事業用品代
印刷製本費	50	0	50	鑑賞事業PRチラシ印刷
保険料	30	15	15	鑑賞事業保険代
諸謝金	100	0	100	鑑賞事業出演(2団体)謝金
支払負担金	0	600	△ 600	歌舞伎、文楽鑑賞事業の減
支払手数料	3	3	0	謝金等振込手数料
委託費	50	0	50	公演等オンライン配信委託料
賃借料	50	50	0	野外公演に伴う用品借上料
ii 美術品・歴史資料展示及び企画 展共催事業	4,306	615	3,691	700%
職員給料	2,019	0	2,019	職員任用経費
職員賞与	671	0	671	職員任用経費
管理職手当	159	0	159	職員任用経費
退職給付費用	220	0	220	職員任用経費
法定福利費	457	0	457	職員任用経費
旅費交通費	50	11	39	講師旅費交通費
通信運搬費	30	0	30	切手、発送代
消耗品費	25	13	12	展示・共催事業用品代
印刷製本費	480	172	308	パンフ作成、団報発行
システム管理費	13	0	13	ホームページ管理費
諸謝金	70	100	△ 30	企画展記念講演会講師謝金

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
燃料費	3	0	3	自動車ガソリン代
修繕費	7	0	7	自動車修繕費等
保険料	5	0	5	自動車保険代
租税公課	21	11	10	自動車税、源泉所得税
支払負担金	0	0	0	
支払手数料	16	4	12	謝金等振込手数料
委託費	50	300	△ 250	美術品等オンライン配信委託料
雑費	10	4	6	調査手土産代等
iii 芸術・文化講座及び人材育成セミナー	4,523	1,490	3,033	304%
職員給料	2,003	0	2,003	職員任用経費
職員賞与	666	0	666	職員任用経費
管理職手当	156	0	156	職員任用経費
退職給付費用	217	0	217	職員任用経費
法定福利費	452	0	452	職員任用経費
旅費交通費	225	165	60	講師旅費交通費
通信運搬費	10	24	△ 14	切手、発送代
消耗品費	42	10	32	講座、セミナー用品代
印刷製本費	50	0	50	講座等案内、資料作成
燃料費	35	0	35	自動車ガソリン代
修繕費	44	0	44	自動車修繕費等
保険料	5	3	2	講座等保険代
諸謝金	520	872	△ 352	文化講演会、講座等講師謝金
租税公課	90	93	△ 3	自動車税・保険料
支払手数料	8	8	0	謝金等振込手数料
支払助成金	0	315	△ 315	助成金減額
iv 芸術・文化活動助成・支援事業	1,191	339	852	351%
職員給料	479	0	479	職員任用経費
職員賞与	159	0	159	職員任用経費
管理職手当	38	0	38	職員任用経費
退職給付費用	52	0	52	職員任用経費
法定福利費	109	0	109	職員任用経費
通信運搬費	10	11	△ 1	切手、発送代
消耗品費	6	5	1	助成事業用品代
印刷製本費	100	0	100	事業団報「かがやき」発行
システム管理費	2	0	2	ホームページ管理費
燃料費	2	0	2	自動車ガソリン代
修繕費	3	0	3	自動車修繕費等
租税公課	3	0	3	自動車税・重量税等
保険料	5	0	5	自動車保険料
支払助成金	220	320	△ 100	2団体各(10万)+2団体(各1万)
支払手数料	3	3	0	助成金振込手数料
v 共通事業経費	0	519	△ 519	共通事業費削除
②管理費支出	7,760	987	6,773	786%
職員給料	3,439	0	3,439	職員任用経費
職員賞与	1,143	0	1,143	職員任用経費
管理職手当	270	0	270	職員任用経費
退職給付費用	374	0	374	職員任用経費
法定福利費	777	0	777	職員任用経費
会議研修費	40	38	2	公益財団事務研修費
旅費交通費	30	10	20	公益財団事務研修費
通信運搬費	135	17	118	電話FAX、インターネット、郵送代
交際費	10	10	0	
消耗品費	382	5	377	事務所移転、管理用品費
修繕費	50	57	△ 7	自動車修繕費

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備 考
印刷製本費	100	100	0	0 団報『かがやき』
燃料費	20	20	0	0 自動車ガソリン代
保険料	35	24	11	11 自動車保険代
諸謝金	255	251	4	4 TKC会計システム、コンサルティング
租税公課	35	34	1	1 自動車税、源泉所得税
システム管理費	10	8	2	2 ホームページ運営費
賃借料	560	324	236	236 会計システム、プリンター
支払負担金	70	70	0	0 全国公益法人協会 準会員費
支払利息	0	0	0	
支払手数料	20	19	1	1 振込、証明書発行手数料
雑費	5	0	5	5 調査手土産代
経常費用計	19,848	4,928	14,920	403%
当期経常増減額	△ 15,600	0	△ 15,600	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 15,600	0	△ 15,600	
一般正味財産期首残高	49,195	49,195	0	
一般正味財産期末残高	33,595	49,195	△ 15,600	
II 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	2,850	2,850	0	
投資有価証券受取利息	131	131	0	
②特定資産運用益				
特定資産受取利息	1,398	1,398	0	
③一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 4,248	△ 4,248	0	
当期指定正味財産増減額	131	131	0	
指定正味財産期首残高	900,124	899,993	131	
指定正味財産期末残高	900,255	900,124	131	
III 正味財産期末残高	933,850	949,319	△ 15,469	

(注)

- 従来、収支予算書は「資金収支方式」により作成していたが、平成24年度から公益法人認定法施行規則第30条に基づき、「正味財産増減計算方式」により作成している。
- 予算書は、公益法人会計基準の運用指針(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)の「正味財産増減計算書」の様式に準じて作成している。
- 前年度の一般正味財産及び指定正味財産の期末残高並びに当年度の一般正味財産及び指定正味財産の期首・期末残高は、本予算編成時における見込額である。

Ⅱ-(2) 令和3年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団正味財産増減予算内訳書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 控除	合計
	鑑賞、講座、 共催事業	助成・ 支援事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	2,850	2,850		0	2,850
基本財産運用益	0	0	2,850	2,850	0		2,850
特定資産運用益	0	0	0	0	1,398	0	1,398
特定資産運用益	0	0	0	0	1,398		1,398
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
出捐金	0	0	0	0			0
事業収入	0	0	0	0	0	0	0
事業参加者負担金	0	0		0			0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
文化振興事業団寄付金	0	0	0	0			0
受取寄付金振替額			0	0	0		0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
現金預金受取利息	0	0	0	0	0		0
雑入	0	0	0	0	0		0
経常収益計	0	0	2,850	2,850	1,398	0	4,248
(2) 経常費用							
事業費	10,897	1,191	0	12,088		0	12,088
職員給料	5,024	479	0	5,503			5,503
職員賞与	1,670	159	0	1,829			1,829
管理職手当	394	38	0	432			432
退職給付費用	546	52	0	598			598
法定福利費	1,136	109	0	1,245			1,245
旅費交通費	285	0	0	285			285
通信運搬費	50	10	0	60			60
減価償却費	0	0	0	0			0
消耗品費	82	6	0	88			88
修繕費	51	3	0	54			54
印刷製本費	580	100	0	680			680
燃料費	38	2	0	40			40
システム管理費	13	2	0	15			15
保険料	40	5	0	45			45
諸謝金	690	0	0	690			690
租税公課	111	3	0	114			114
賃借料	50	0	0	50			50
支払負担金	0	0	0	0			0
支払助成金	0	220	0	220			220
支払手数料	27	3	0	30			30
委託費	100	0	0	100			100
交際費	0	0	0	0			0
雑費	10	0	0	10			10

管理費					7,760	0	7,760
職員給料					3,439		3,439
職員賞与					1,143		1,143
管理職手当					270		270
退職給付費用					374		374
法定福利費					777		777
会議研修費					40		40
旅費交通費					30		30
通信運搬費					135		135
交際費					10		10
減価償却費					0		0
消耗品費					382		382
修繕費					50		50
印刷製本費					100		100
燃料費					20		20
保険料					35		35
諸謝金					255		255
租税公課					35		35
システム管理費					10		10
賃借料					560		560
支払負担金					70		70
支払利息					0		0
支払手数料					20		20
雑費					5		5
経常費用計	10,897	1,191	0	12,088	7,760	0	19,848
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,897	△ 1,191	2,850	△ 9,238	△ 6,362	0	△ 15,600
基本財産評価損益等				0			0
特定資産評価損益等				0	0		0
投資有価証券評価損益等				0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,897	△ 1,191	2,850	△ 9,238	△ 6,362	0	△ 15,600
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							0
中科目別記載				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							0
中科目別記載				0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	10,897	1,191	△ 2,850	9,238	△ 9,238		0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	△ 15,600	0	△ 15,600
一般正味財産期首残高	0		0	0	49,195		49,195
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	33,595	0	33,595
II 指定正味財産増減の部							
基本財産受取利息			2,850	2,850	0		2,850
投資有価証券受取利息			27	27	104		131
特定資産受取利息				0	1,398		1,398
一般正味財産への振替額			△ 2,850	△ 2,850	△ 1,398		△ 4,248
当期指定正味財産増減額	0	0	27	27	104	0	131
指定正味財産期首残高			503,634	503,634	396,490		900,124
指定正味財産期末残高	0	0	503,661	503,661	396,594	0	900,255
III 正味財産期末残高	0	0	503,661	503,661	430,189	0	933,850

令和2年度

公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告

公益財団法人佐野市民文化振興事業団決算報告

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

【公益財団法人佐野市民文化振興事業団】

目 次

I. 事業報告及び附属明細書	1～7
II. 貸借対照表及び内訳表	8・9
III. 正味財産増減計算書及び内訳表	10～14
IV. 財務諸表に対する注記	15～18
V. 附属明細書	19
VI. 財産目録	20
VII. 監査報告書	21

I. 令和2年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1. 事業概要

令和2年度は、平成6年度に設立した佐野市民文化振興事業団が公益財団法人に移行して9年目を迎えた。当事業団は、定款の趣意である「すべての市民が優れた文化環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を基本理念に、令和2年度も本市の芸術・文化の振興を図るための公益事業を展開する計画であったが、世界的なコロナ禍により大部分の公益目的事業を中止せざるを得ない状況に陥ってしまった。その中において、実施可能な事業団報の発行や芸術・文化活動助成事業は、一部縮小しながらも進めた。

一方で、令和2年度は、年来の懸案であった事務局の自立化及び公益目的事業の見直し作業を進め、令和3年度からこれまでの事業領域を拡大し新たな公益目的事業内容で事業を展開することが可能となり、事務所を佐野市役所本庁から移転し専従職員の任用を図ることができた。

2. 公益目的事業1（事業番号：公1）

(1) 芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした体験、講座、企画展共催事業

ア 演劇鑑賞教室事業

伝統芸能や歌舞伎、文楽などの日本の伝統文化の鑑賞に気軽に参加し、生で本物の舞台芸術に触れる機会を提供する事業として、東京都内の国立劇場で歌舞伎鑑賞教室を7月に、文楽鑑賞教室を12月に実施する計画であったが、新型コロナウイルスの感染拡大によりやむなく事業を中止した。

イ 美術品展示及び鑑賞事業

(ア) 第10回佐野ルネッサンス鑄金展参画事業 伝統工芸「天明鑄物」の鑄金文化の継承と新進作家の発掘を目指す「佐野ルネッサンス鑄金展」の展示や図録作成に参加する計画であったが、コロナ禍により中止した。

(イ) 壁画アートプロジェクト 市内公共施設等と連携し、プロのアーティストの指導のもと、子どもたちが壁画アートを制作する計画であったが、コロナ禍により中止した。

ウ 芸術文化に関する人材育成事業

(ア) アートマネジメント講座 文化ホールやギャラリー等の文化施設を使って、市民が主体的に事業をプロデュースしていくために必要なことを企画から運営まで学ぶ講座を計画したが、コロナ禍により中止した。

(イ) 子ども演劇サマースクール 演劇という創作活動を通じて、子どもたち

が、自発的に学ぶ機会を提供するワークショップを計画したが、コロナ禍により中止した。

3. 公益目的事業2（事業番号：公2）

(1) 市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・育成を担う団体に対する助成・支援事業

ア 芸術・文化活動助成事業（3団体）

(ア) 第1回ユネスコ世界遺産写真展

*内容 人類共通の財産である日本と世界の世界遺産写真を通じて、広く市民に紹介した。また、グローバル環境の下で、佐野ふるさと民話の会の協力を得て、地元につながる民話を聞く機会を提供した。

- a 期日 令和2年9月11日(金)～13日(日)
- b 場所 吉澤記念美術館地域交流センター
- c 主催 佐野ユネスコ協会 入場者数 約110人
- d 助成 100,000円

(イ) 佐野天明鋳物伝統文化の継承・普及啓発活動

*内容 佐野市を代表する伝統工芸「天明鋳物」を後世に伝えることを目的として講演会、研究会、鋳物講座等を開催する計画であったが、コロナ禍により内容を変更し講演会開催を中心に活動を実施した。

- a 講演会期日 令和2年11月21日(土)
- b 演題 「佐野天明鋳物の文化財的価値」
- c 講師 栃木県立博物館 人文課長 篠崎茂雄氏
- d 場所 佐野市中央公民館3階ホール
- e 主催 天命鋳物伝承保存会 入場者数 約80人
- f 助成 66,437円

(ウ) さの演劇塾第11回定期公演

*内容 当初は文化会館小ホールで市民に直接観覧してもらう舞台を計画していたが、コロナ禍により実施スタイルを変更し、佐野ケーブルテレビの協力により、ビデオ収録をしてテレビ放映を行った。

- a ケーブルテレビ放映期間 令和3年1月1日(金)～10日(日)
- b テーマ及び構成 「宮沢賢治を紡ぐ」 群読(雨ニモマケズ)、リーディング(注文の多い料理店)、ショート演劇(あの日の銀河鉄道)
- c 収録場所 文化会館小ホール
- d 主催 さの演劇塾
- e 助成 50,000円

4. 芸術文化に関する情報収集・提供事業

(1) 事業団報『かがやき』第26号の発行

事業団の広報紙を令和2年9月1日に発行し、市内全戸及び関連施設等に配布した。

- ・体裁 A4版、4ページ（フルカラー）
- ・部数 46,000部

(2) インターネットの活用 ホームページの充実を図り、事業・イベント情報を適宜発信した。

5. 文化関連団体事業への後援

各団体が実施する各種事業のうち文化振興に関わる事業について、当該団体から後援依頼の申請を受け、当財団がその企画やイベントの趣旨に賛同した団体に後援名義の使用を承認した。

令和2年度は、後援名義使用を承認した団体であっても、コロナ禍により中止となってしまった事業が複数あった。

(1) 第117回日本水彩画会安足支部展

- a 期日 令和2年9月4日(金)～6日(日)
- b 場所 足利市民会館 展示室、会議室
- c 主催 日本水彩画会安足支部 ・入場者数 246人

(2) 第1回ユネスコ世界遺産写真展

- a 期日 令和2年9月11日(金)～13日(日)
- b 場所 吉澤記念美術館地域交流センター
- c 主催 佐野ユネスコ協会 ・入場者数 約110人

(3) 第118回日本水彩画会安足支部展

- a 期日 令和3年1月28日(木)～31日(日)
- b 場所 佐野市文化会館 展示室A・B、会議室201
- c 主催 日本水彩画会安足支部 ・入場者数 480人

(4) 佐野市民合唱団 Voice 第22回定期演奏会 中止

(5) 第10回R293美術展2020「12の有機体」中止

(6) 第10回佐野ルネッサンス鋳金展 中止

6. 理事会、評議員会に関する事項

(1) 理事会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
第1回 通常	令和2年 5月8日 (書面)	1 議案第1号 令和2年度定時評議員会の招集について 2 議案第2号 任期満了に伴う顧問の選任について 3 議案第3号 任期満了に伴う事業選考委員会委員の選任について 4 議案第4号 令和元年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業報告について 5 議案第5号 令和元年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団決算報告について	可決 可決 可決 可決 可決
第1回 臨時	令和2年 6月1日	1 議案第1号 理事長（代表理事）の選定について 2 議案第2号 専務理事（業務執行理事）の選定について	可決 可決
第2回 臨時	令和2年 9月30日	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について 2 議案第1号 佐野市民文化振興事業団の自立化基本方針について 3 議案第2号 専従職員の任用について 4 議案第3号 公益目的事業の変更について 5 議案第4号 事務所の移転について 6 議案第5号 佐野市民文化振興事業団規則・規定等の改訂について 7 議案第6号 特定資産の取り崩しについて 8 議案第7号 事業選考委員会の招集について	— 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第2回 通常	令和3年 2月8日	1 報告第1号 職務の執行状況の報告について 2 報告第2号 書記（専従職員）の採用について	— —

		3 議案第1号 事務局長（専従職員）の採用について	可決
		4 議案第2号 事務所の移転時期について	可決
		5 議案第3号 令和2年度収支予算の補正について	可決
		6 議案第4号 令和3年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画について	可決
		7 議案第5号 令和3年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団収支予算について	可決
		8 議案第6号 令和2年度臨時評議員会の招集について	可決

(2) 評議員会議決及び報告事項

区分	議決年月日	件名	可否
定時	令和2年 6月1日	1 報告第1号 任期満了に伴う顧問の選任について	—
		2 報告第2号 任期満了に伴う事業選考委員会委員の選任について	—
		3 議案第1号 任期満了に伴う役員 の選任について	可決
		4 議案第2号 任期満了に伴う評 議員の選任について	可決
		5 議案第3号 令和元年度公益財 団法人佐野市民文化振興事業団事 業報告について	可決
		6 議案第4号 令和元年度公益財 団法人佐野市民文化振興事業団決 算報告について	可決
臨時	令和3年 2月16日	1 報告第1号 佐野市民文化振興 事業団自立化基本方針について	—
		2 報告第2号 専従職員の採用に ついて	—
		3 報告第3号 特定資産の取り崩 しについて	—

	4 報告第4号 公益目的事業の変更認定申請について	—
	5 報告第5号 事務所の移転について	—
	6 報告第6号 佐野市民文化振興事業団規則・規程等の改訂について	—
	7 報告第7号 令和2年度収支予算の補正について	—
	8 報告第8号 令和3年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画について	—
	9 報告第9号 令和3年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団収支予算について	—

7. 事業選考委員会に関する事項

事業選考委員会規程の改訂(令和2年9月30日)により、令和3年度芸術・文化活動助成事業の応募がなかったため、委員会は開催しなかった。

8. 登記に関する事項

登記年月日	件名
令和2年6月5日	役員(理事・監事)及び評議員の任期満了に伴う改選があり、役員・評議員の登記を行った。

9. 情報公開に関する事項

無し。

附属明細書

令和2年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。

Ⅱ－(1)貸借対照表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金(一般)	6,041,359	3,655,301	2,386,058
流動資産合計	6,041,359	3,655,301	2,386,058
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券(指定)	499,946,430	499,919,645	26,785
定期預金(指定)	3,687,279	3,687,279	0
基本財産合計	503,633,709	503,606,924	26,785
(2) 特定資産			
投資有価証券(管理運営財産)	199,585,635	199,482,045	103,590
特別事業基金(管理運営財産)	222,434,970	222,434,970	0
特定資産合計	422,020,605	421,917,015	103,590
(3) その他固定資産(一般)			
車両運搬具	1	1	0
美術品	3,010,000	3,010,000	0
美術品(モニュメント)	17,000,000	17,000,000	0
その他固定資産合計	20,010,001	20,010,001	0
固定資産合計	945,664,315	945,533,940	130,375
資産合計	951,705,674	949,189,241	2,516,433
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
市補助金(指定)	503,633,709	503,606,924	26,785
市寄付金(指定)	396,490,136	396,386,546	103,590
指定正味財産合計	900,123,845	899,993,470	130,375
(うち基本財産への充当額)	(503,633,709)	(503,606,924)	(26,785)
(うち特定資産への充当額)	(396,490,136)	(396,386,546)	(103,590)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	51,581,829	49,195,771	2,386,058
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(25,530,469)	(25,530,469)	(0)
正味財産合計	951,705,674	949,189,241	2,516,433
負債及び正味財産合計	951,705,674	949,189,241	2,516,433

Ⅱ－(2)貸借対照表内訳表
令和3年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	法人 会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金 (一般)	2,414,769	3,626,590		6,041,359
流動資産合計	2,414,769	3,626,590		6,041,359
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券 (指定)	499,946,430	0		499,946,430
定期預金 (指定)	3,687,279	0		3,687,279
基本財産合計	503,633,709	0		503,633,709
(2) 特定資産				
投資有価証券 (管理運営財産)	0	199,585,635		199,585,635
特別事業基金 (管理運営財産)	0	222,434,970		222,434,970
特定資産合計	0	422,020,605		422,020,605
(3) その他固定資産 (一般)				
車両運搬具	1	0		1
美術品	3,010,000	0		3,010,000
美術品(モニュメント)	17,000,000	0		17,000,000
その他固定資産合計	20,010,001	0		20,010,001
固定資産合計	523,643,710	422,020,605	0	945,664,315
資産合計	526,058,479	425,647,195	0	951,705,674
II 負債の部				
1. 流動負債				
流動負債合計	0	0		0
2. 固定負債				
固定負債合計				
負債合計	0	0		0
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
市補助金 (指定)	503,633,709	0		503,633,709
市寄付金 (指定)		396,490,136		396,490,136
指定正味財産合計	503,633,709	396,490,136		900,123,845
(うち基本財産への充当額)	(503,633,709)	(0)		(503,633,709)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(396,490,136)		(396,490,136)
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	36,581,561	15,000,268		51,581,829
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(25,530,469)		(25,530,469)
正味財産合計	540,215,270	411,490,404		951,705,674
負債及び正味財産合計	540,215,270	411,490,404		951,705,674

Ⅲ－(1)正味財産増減計算書

令和2年 4月 1日から令和3年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,849,367	2,849,368	△ 1
基本財産運用益計	2,849,367	2,849,368	△ 1
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,397,319	1,397,248	71
特定資産運用益計	1,397,319	1,397,248	71
事業収益			
芸術鑑賞会参加負担金収益	0	680,000	△ 680,000
事業収益計	0	680,000	△ 680,000
雑収益			
受取利息	44	34	10
雑収益	880,000	0	880,000
雑収益計	880,044	34	880,010
経常収益計	5,126,730	4,926,650	200,080
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	0	453,932	△ 453,932
通信運搬費	12,936	68,126	△ 55,190
車両運搬具減価償却費	0	0	0
消耗品費	805,725	424,139	381,586
修繕費	25,105	32,936	△ 7,831
印刷製本費	189,750	322,187	△ 132,437
燃料費	7,123	25,294	△ 18,171
賃借料	0	0	0
保険料	31,980	56,948	△ 24,968
諸謝金	30,000	1,268,000	△ 1,238,000
租税公課	11,552	11,552	0
支払負担金	0	659,000	△ 659,000
支払助成金	216,437	148,060	68,377
委託費	0	193,930	△ 193,930
システム管理費	0	90,769	△ 90,769
支払手数料	1,815	11,135	△ 9,320
会議研修費(事業)	0	2,138	△ 2,138
雑費	0	15,050	△ 15,050
事業費計	1,332,423	3,783,196	△ 2,450,773
管理費			
会議研修費	9,904	19,612	△ 9,708
交際費	0	0	0

旅費交通費	3,380	0	3,380
通信運搬費	21,800	24,470	△ 2,670
車両運搬具減価償却費	0	0	0
消耗品費	576,691	105,877	470,814
修繕費	22,921	30,072	△ 7,151
印刷製本費	63,250	103,963	△ 40,713
燃料費	6,505	23,091	△ 16,586
賃借料	323,400	320,460	2,940
保険料	29,200	30,140	△ 940
租税公課	10,548	10,548	0
支払負担金	69,300	68,670	630
支払手数料	271,350	266,169	5,181
システム管理費	0	56,731	△ 56,731
雑費	0	3,240	△ 3,240
管理費計	1,408,249	1,063,043	345,206
経常費用計	2,740,672	4,846,239	△ 2,105,567
評価損益等調整前当期経常増減額	2,386,058	80,411	2,305,647
当期経常増減額	2,386,058	80,411	2,305,647
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	2,386,058	80,411	2,305,647
一般正味財産期首残高	49,195,771	49,115,360	80,411
一般正味財産期末残高	51,581,829	49,195,771	2,386,058
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,849,367	2,849,368	△ 1
投資有価証券受取利息(補助金)	26,785	26,785	0
投資有価証券受取利息(寄付金)	103,590	103,590	0
基本財産運用益計	2,979,742	2,979,743	△ 1
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,397,319	1,397,248	71
特定資産運用益計	1,397,319	1,397,248	71
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	4,246,686	4,246,616	70
当期指定正味財産増減額	130,375	130,375	0
指定正味財産期首残高	899,993,470	899,863,095	130,375
指定正味財産期末残高	900,123,845	899,993,470	130,375
III 正味財産期末残高	951,705,674	949,189,241	2,516,433

Ⅲ-(2) 正味財産増減計算書内訳表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	公1(体験・講座共催事)	公2(助成支援事業)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用利益			2,849,367	2,849,367			2,849,367
基本財産受取利息			2,849,367	2,849,367			2,849,367
基本財産運用利益計							
特定資産運用利益							
特定資産受取利息					1,397,319		1,397,319
特定資産運用利益計					1,397,319		1,397,319
事業収益							
芸術鑑賞会参加負担金収益	0			0			0
事業収益計	0			0			0
雑収益							
受取利息					44		44
雑収益	880,000			880,000			880,000
雑収益計	880,000			880,000	44		880,044
経常収益計	880,000		2,849,367	3,729,367	1,397,363		5,126,730
(2) 経常費用							
事業費							
旅費交通費	0			0			0
通信運搬費	0	12,936	0	12,936			12,936
消耗品費	585,114	70,525	150,086	805,725			805,725
修繕費	20,738	1,092	3,275	25,105			25,105
印刷製本費	63,250	63,250	63,250	189,750			189,750
燃料費	5,884	310	929	7,123			7,123

保険料	26,419	1,390	4,171	31,980			31,980
諸謝金	10,000		20,000	30,000			30,000
租税公課	9,543	502	1,507	11,552			11,552
支払負担金	0			0			0
支払助成金	0	216,437		216,437			216,437
委託費	0			0			0
システム管理費	0	0	0	0			0
支払手数料	330	1,155	330	1,815			1,815
会議研修費(事業)	0			0			0
雑費	0		0	0			0
事業費計	721,278	367,597	243,548	1,332,423			1,332,423
管理費							
会議研修費						9,904	9,904
旅費交通費						3,380	3,380
通信運搬費						21,800	21,800
消耗品費						576,691	576,691
修繕費						22,921	22,921
印刷製本費						63,250	63,250
燃料費						6,505	6,505
賃借料						323,400	323,400
保険料						29,200	29,200
租税公課						10,548	10,548
支払負担金						69,300	69,300
支払手数料						271,350	271,350
システム管理費						0	0
雑費						0	0
管理費計						1,408,249	1,408,249
経常費用計	721,278	367,597	243,548	1,332,423		1,408,249	1,408,249
評価損益等調整前当期経常増減額	158,722	△ 367,597	2,605,819	2,396,944		△ 10,886	2,386,058
当期経常増減額	158,722	△ 367,597	2,605,819	2,396,944		△ 10,886	2,386,058

IV. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準

公益法人会計基準

(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正、
平成28年3月22日改正 内閣府公益認定等委員会)

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却原価法(定額法)によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。ただし、美術品については減価償却を行わない。

(4) 引当金の計上基準

該当なし。

(5) リース取引の処理方法

該当なし。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	499,919,645	26,785	0	499,946,430
定期預金(基)(指定)	0	0	0	0
定期預金	3,419,429	0	0	3,419,429
定期預金(債券アンダーパー取得分)	267,850	0	0	267,850
小 計	503,606,924	26,785	0	503,633,709
特定資産				
投資有価証券	199,482,045	103,590	0	199,585,635
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
定期預金	20,399,065	0	0	20,399,065
定期預金(債券アンダーパー取得分)	1,035,905	0	0	1,035,905
モニュメント定期補修積立資金(モニュメント定期補修費)	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	421,917,015	103,590	0	422,020,605
合 計	925,523,939	130,375	0	925,654,314

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
投資有価証券	499,946,430	499,946,430	0	0
定期預金	0	0	0	0
定期預金	3,419,429	3,419,429	0	0
定期預金(債券アンダーパー取得分)	267,850	267,850	0	0
小 計	503,633,709	503,633,709	0	0
特定資産				
投資有価証券	199,585,635	180,350,641	19,131,404	0
定期預金	200,000,000	200,000,000	0	0
定期預金	20,399,065	15,000,000	5,399,065	0
定期預金(債券アンダーパー取得分)	1,035,905	1,035,905	0	0
モニュメント定期補修積立資金(モニュメント定期補修費)	1,000,000	0	1,000,000	0
小 計	422,020,605	396,386,546	25,530,469	0
合 計	925,654,314	900,020,255	25,530,469	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,257,040	1,257,039	1
什器備品(美術品)	3,010,000	0	3,010,000
モニュメント(美術品)	17,000,000	0	17,000,000
合 計	21,267,040	1,257,039	20,010,001

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 記載区分
佐野市出捐金 (補助金)	佐野市	503,606,924	26,785	0	503,633,709	指定正味
佐野市出捐金 (寄附金)	佐野市	396,386,546	103,590	0	396,490,136	指定正味
合 計		899,993,470	130,375	0	900,123,845	

(注) 原資は、市補助金500,000,000円(平成5年度～14年度まで毎年5千万円×10年)、民間寄附金393,556,000円(平成6年度～21年度まで、13,823件)であるが、市に一時繰り入れたことにより、貸借対照表等の科目では「市寄付金」としている。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(注) 当財団にて購入・運用している債券の帳簿価額は、満期時に債券額面による償還を受けることを予定している(満期保有目的の債券である)ことから、会計処理上、取得価額ではなく償却原価法(定額法)に基づく価額で表示している。また、表の「評価損益」とは、期末時点(令和3年3月30日または令和3年3月31日時点)の償却原価法にもとづく帳簿価額と時価との差額であり、満期時に額面による償還を受ける場合に見込まれる損益を示すものではない。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
①愛知県H23第11回公募公債	100,000,000	100,581,100	581,100
②第123回共同発行市場公募公債	99,946,430	101,930,000	1,983,570
③横浜市平成25年度第2回公募公債	100,000,000	101,991,600	1,991,600
④第142回共同発行市場公募公債	99,585,635	101,290,000	1,704,365
⑤第149回共同発行市場公募公債	100,000,000	102,131,200	2,131,200
⑥政府保証債 第258回 日本高速道路保有・ 債務返済機構債券	100,000,000	101,770,000	1,770,000
⑦第169回共同発行市場公募公債	100,000,000	100,970,000	970,000
合 計	699,532,065	710,663,900	11,131,835

(参考)

公益目的事業用債券

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
②第123回共同発行市場公募公債	99,946,430	101,930,000	1,983,570
③横浜市平成25年度第2回公募公債	100,000,000	101,991,600	1,991,600
⑤第149回共同発行市場公募公債	100,000,000	102,131,200	2,131,200
⑥政府保証債 第258回 日本高速道路保有・ 債務返済機構債券	100,000,000	101,770,000	1,770,000
⑦第169回共同発行市場公募公債	100,000,000	100,970,000	970,000
合 計	499,946,430	508,792,800	8,846,370

(参考)

法人会計用債券

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
①愛知県H23第11回公募公債	100,000,000	100,581,100	581,100
④第142回共同発行市場公募公債	99,585,635	101,290,000	1,704,365
合 計	199,585,635	201,871,100	2,285,465

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	2,849,367
特定資産受取利息	1,397,248
合 計	4,246,615

(注)債券及び定期預金運用益による利息である。

V. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

該当なし。

VI. 財産目録

令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預金	普通預金 足利銀行佐野支店	運転資金として	6,041,359
流動資産合計				6,041,359
(固定資産)				
1. 基本財産			公益目的保有財産	
	基本財産 (定期預金)	足利銀行佐野支店		1,920,000
		佐野信用金庫本店		1,499,429
		栃木銀行佐野支店		267,850
	(投資有価証券)	第149回共同発行市場公募公債		100,000,000
		政府保証債第258回日本高速道路保有・債務返済機構債券		100,000,000
		第123回共同発行市場公募公債		99,946,430
		横浜市平成25年度第2回公募公債		100,000,000
		第169回共同発行市場公募公債		100,000,000
	基本財産合計			503,633,709
2. 特定資産			管理運営財産	
	特別事業基金			
	特定費用準備資金 (定期預金)	栃木銀行佐野支店	モニュメント定期補修費	1,000,000
		佐野信用金庫本店		2,399,065
		"		5,000,000
		足利銀行佐野支店		3,000,000
		"		100,000,000
		佐野農業協同組合本店		10,000,000
		"		100,000,000
		栃木銀行佐野支店		1,035,905
	(投資有価証券)	第142回共同発行市場公募公債		99,585,635
		愛知県H23第11回公募公債		100,000,000
	特定資産合計			422,020,605
3. その他固定資産				
	車両運搬具	トヨタプロボックス1500cc(減価償却済)	(共用財産)	1
			うち公益目的保有財産 100%	(1)
			うち法人の管理運営の用に 供する財産0%	(0)
	什器備品	美術品	公益目的保有財産であり 公1事業に使用している	3,010,000
	モニュメント	美術品	公益目的保有財産であり 公1事業に使用している	17,000,000
	その他固定資産合計			20,010,001
固定資産合計				945,664,315
資産合計				951,705,674
(流動負債)				
	未払金			0
流動負債合計				0
負債合計				0
正味財産				951,705,674

監査報告書

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
理事長 佐野正行様

令和3年4月21日

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
監事 白澤幸治

公益財団法人 佐野市民文化振興事業団
監事 成瀬正彦

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主たる事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び正味財産の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

